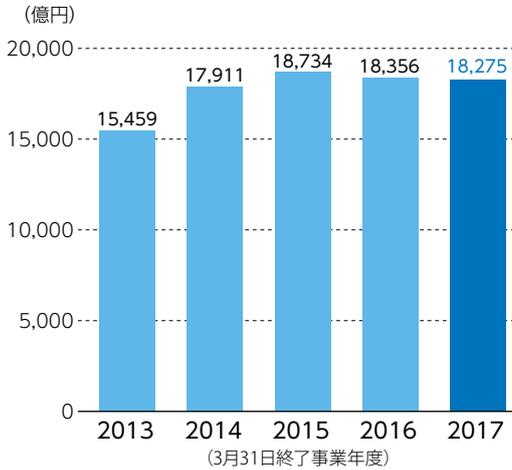


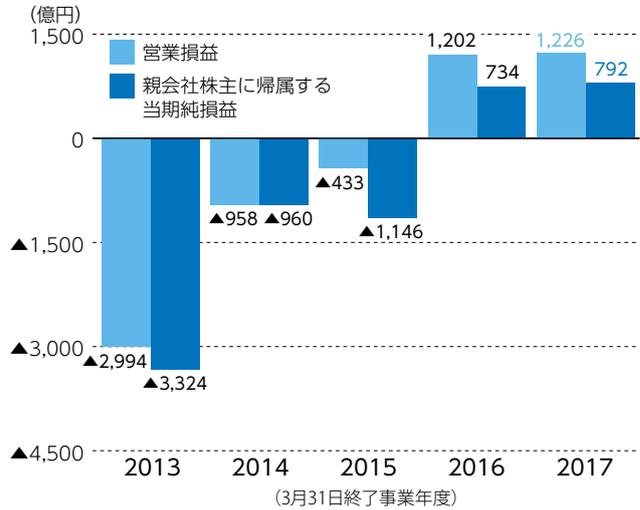
売上高(営業収益)

18,275億円



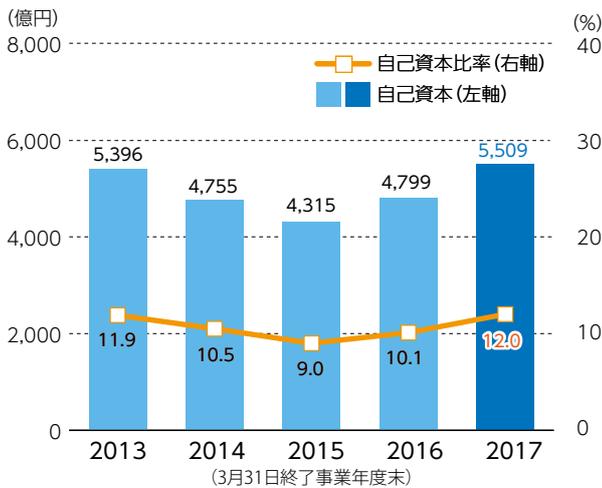
親会社株主に帰属する当期純損益

792億円



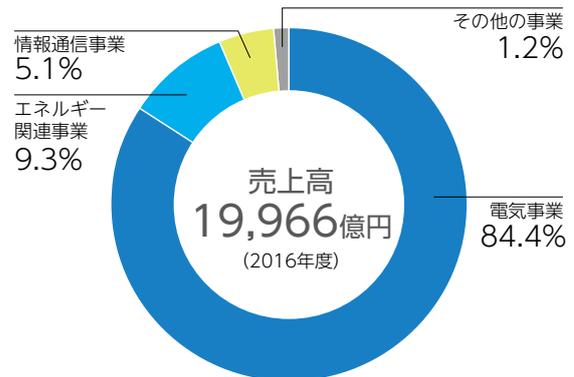
自己資本比率

12.0%



売上高に占める電気事業の割合(連結消去前)

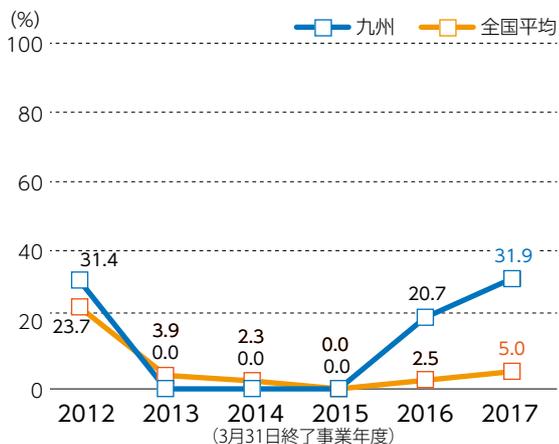
84.4%



▶ 詳しい財務情報についてはFinancial Section(P.52~69)参照

原子力発電所設備利用率

31.9%



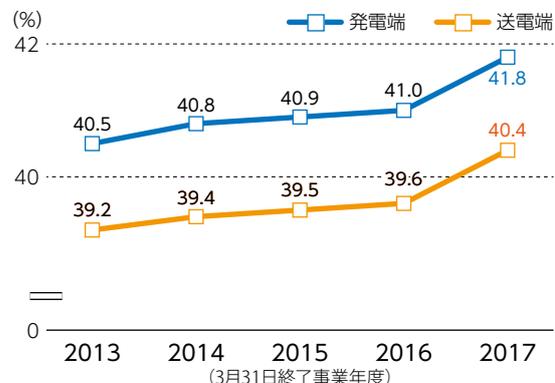
2015年に川内原子力発電所1、2号機が通常運転に復帰し、設備利用率は31.9%まで回復しました。玄海原子力発電所の早期再稼働により「電力の安定供給」と「収支の抜本的な改善」を目指します。

▶原子力安全対策についてはESG Section(P.44-45)参照

火力総合熱効率(送電端)

40.4%

(高位発熱量基準)



(注)熱量は高位発熱量ベースで算定

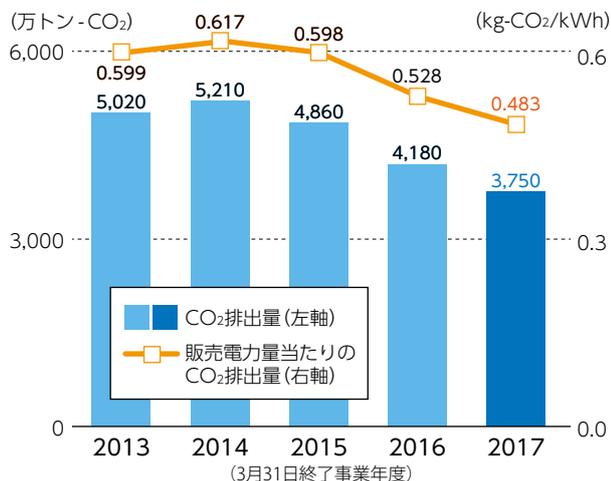
2016年度は、6月に世界最高水準の高効率コンバインドサイクルである新大分発電所3号系列第4軸の営業運転を開始したことに加え、熱効率の高いLNG、石炭火力発電所の高稼働に努めたことにより、火力総合熱効率(送電端)は40.4%と高水準を維持しました。

サステナビリティハイライト

販売電力量当たりのCO₂排出量

0.483kg-CO₂/kWh

(暫定値)



川内原子力発電所1、2号機の年間を通じた安定運転(定期検査期間を除く)に加え、再生可能エネルギーによる発電量の増加などにより、2016年度のCO₂排出量は2015年度より約10%減少しました。



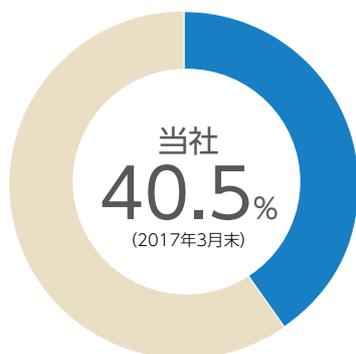
川内原子力発電所

▶主な環境に関する取組みについてはESG Section(P.46-47)参照

地熱発電の設備容量

20.8万kW

電気事業者合計に占める当社の割合 (自家発電除く)



当社は、日本最大規模の八丁原発電所をはじめ、全国における約4割の地熱発電設備を保有し、発電電力量は全国の5割以上を占めます。



八丁原発電所



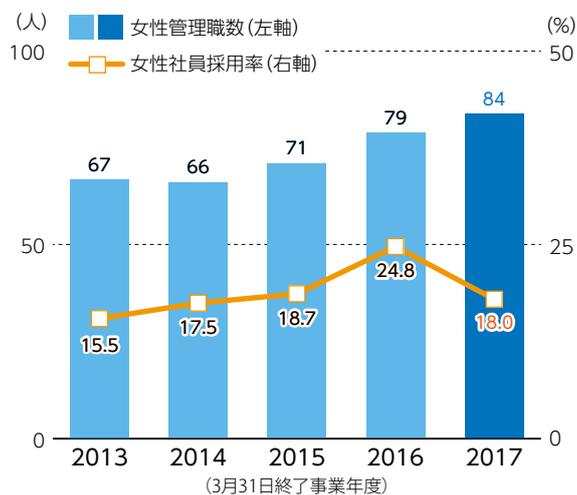
滝上発電所



大霧発電所

女性社員採用率

18.0% (事務系のみ45.3%)



2016年3月、「女性活躍推進に関する行動計画」を策定し、女性社員の育成に向けた取組みを展開しています。

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定

2016年7月には、女性活躍推進に関する取組みの実施状況などが優良な企業として、厚生労働大臣の認定を受けました。(九州の企業で2社目)



「えるぼし」認定マーク

▶ 女性の活躍推進に向けた取組みについてはESG Section (P.51) 参照